

キリンビバレッジ株式会社と愛知県清須市が 「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定書」を締結 ～ペットボトルの「ボトル to ボトル」水平リサイクルを加速～

キリンビバレッジ株式会社（社長 吉村透留）は、愛知県清須市（市長 永田純夫）と「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定書」を10月7日（金）に締結します。当社が、使用済みペットボトルを回収してペットボトルに再生する「ボトル to ボトル」水平リサイクルに関する協定を自治体と締結するのは初めてです。

当社は、本協定の下、愛知県清須市で回収された使用済みペットボトルが、粉碎・洗浄などの工程を経てリサイクル PET 樹脂に再原料化されたものを、新たなペットボトルにリサイクルし当社の一部商品に使用します。なお、ペットボトルを水平リサイクルすることで、新たに石油由来の原料（バージン PET 樹脂）からペットボトルを作る場合に比べ、GHG^{※1} 排出量を 50～60%削減^{※2} することができます。

※1 GreenHouse Gas：温室効果ガス

※2 キリングループ環境報告書 2022

キリングループは、2020年2月に社会と企業のレジリエンス強化へ向けた新たなビジョン「キリングループ環境ビジョン 2050」を策定し、「容器包装を持続可能に循環している社会」を目指すことを宣言しています。また「キリングループ プラスチックポリシー」では、2027年までに日本国内における PET 樹脂使用量の 50%をリサイクル樹脂にすること掲げています。今回、愛知県清須市において排出される使用済みペットボトルを、当社が「ボトル to ボトル」水平リサイクルで安定的にペットボトルとしてリサイクルすることで、持続可能な循環型社会の実現に貢献できると考え、本協定の締結に至りました。本協定により、年間約 40 トンのペットボトルを水平リサイクルできる見込みです。

■キリンビバレッジ株式会社と愛知県清須市の「協定」の連携事項について

- （1）ペットボトルの水平リサイクルに係る市民などへの普及・啓発に関すること
- （2）ペットボトルの水平リサイクルの枠組みの維持に関すること
- （3）その他ペットボトルの水平リサイクル及び資源循環の推進に関すること

回収・再原料化・商品化までの流れ



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビバレッジお客様相談室（フリーダイヤル）0120-595955

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>